

琉球大学医学部及び同附属病院 移転整備基本計画 (概要)

平成29年3月



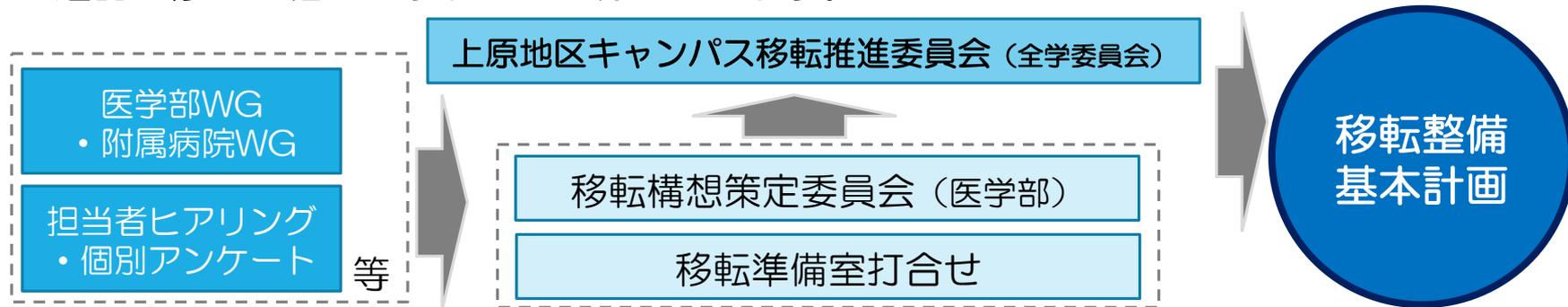
◆ 移転整備基本計画の趣旨

昨年度策定した基本構想における「国際化」、「人材育成」、「先端研究・産業振興」、「医療水準の向上」の4つの構想について、具体化・実現化を目指すため、主要機能や部署別機能等、施設整備を中心とした基本計画（具体的には施設配置（ゾーニング）や建物の配置、諸室構成等）を策定しました。

計画策定に向けた検討経緯について①



- 年度当初においては、計画検討の進め方に関する確認を行うとともに、計画の構成（目次）、新病院における組織名称について検討を行い、その後、個別検討にさしあたり、**全体方針のとりまとめ（敷地ゾーニング、高層棟の設置位置、講座面積等）**を行いました。
- 全体方針の整理後は、部門アンケート、担当者ヒアリング、WG等を実施し、医学部付帯施設、附属病院の各部門について、それぞれ必要諸室や整備計画等の整備方針の検討を行い、各種委員会にて協議の結果、**12月に中間報告書としてとりまとめ**を行いました。
- 基本計画については、その後、学内パブリックコメントによる意見募集から意見に基づく追記・修正を経てとりまとめを行っています。



計画策定に向けた検討経緯について②

- 各会議における検討の流れは、以下の通りです。
これらの会議での検討内容を踏まえ、基本計画を策定しました。

日付	会議		主な検討の流れ	
4月20日(水)	第1回	移転構想策定委員会	○基本計画策定スケジュールの確認、計画目次案の確認 ○新病院における組織名称の考え方の整理	
5月10日(火)	第1回	移転準備室打合せ		
5月18日(水)	第1回	上原地区キャンパス移転推進委員会	◎今年度の全体整備スケジュール、目次案の承認	
5月18日(水)	第2回	移転構想策定委員会	○基本計画策定に向けた検討事項の確認 ↓ ○計画策定に向けた全体方針の検討、高層棟の設置位置の検討 ↓ ○移転後の各講座面積、研究棟における共用スペース整備等の検討 現用品調査に関する説明⇒実施 ↓ ○医学部付帯施設、附属病院整備方針の検討 WG、ヒアリング、アンケート	
6月8日(水)	第2回	移転準備室打合せ		
6月21日(火)	第3回	移転準備室打合せ		
6月22日(水)	第3回	移転構想策定委員会		
7月6日(水)	第4回	移転準備室打合せ		
7月19日(火)	第5回	移転準備室打合せ		
7月27日(水)	第4回	移転構想策定委員会		
8月22日(月)	第6回	移転準備室打合せ		
9月6日(火)	第7回	移転準備室打合せ		
9月12日(月)	第2回	上原地区キャンパス移転推進委員会		◎医学部附属病院のゾーニング案、研究棟の整備について
9月28日(水)	第5回	移転構想策定委員会	○医学部付帯施設、附属病院整備方針の検討 WG、ヒアリング、アンケート ↓ ○各意見をもとにした基本計画本文の作成 ↓ ○各意見をもとにした平面計画(案)の作成 ↓ ○基本計画中間報告書の確認	
10月18日(火)	第8回	移転準備室打合せ		
10月19日(水)	第6回	移転構想策定委員会		
11月15日(火)	第9回	移転準備室打合せ		
11月30日(水)	第7回	移転構想策定委員会		
12月14日(水)	第10回	移転準備室打合せ		
12月21日(水)	第8回	移転構想策定委員会		
12月26日(月)	第3回	上原地区キャンパス移転推進委員会		◎基本計画中間報告書の策定
1月16日(月)	第11回	移転準備室打合せ		○学内パブリックコメント意見を踏まえた修正方針の検討 ○学内パブリックコメントを踏まえた基本計画書の修正 +「現状と課題」、「整備方針」+「整備スケジュール」の検討 ↓ ○基本計画書の確認
1月25日(水)	第9回	移転構想策定委員会		
1月30日(月)	第12回	移転準備室打合せ		
2月15日(水)	第10回	移転構想策定委員会		
2月21日(火)	第4回	上原地区キャンパス移転推進委員会	◎基本計画書の策定	



◆ 基本計画の全体構成

- I. 移転整備コンセプト
- II. 部門別基本計画
- III. キャンパス整備
- IV. 施設整備計画
- V. 整備スケジュール

* 当該資料では便宜上説明の順番を入れ替えています。

I 移転整備コンセプト

基本計画においては、移転整備のコンセプトとして、沖縄県における『琉球大学の位置づけ』、『医学部の位置づけ』、『医学部附属病院の位置づけ』、また『琉球大学医学部における人材養成』について記載しています。

特に、人材養成として、卒業時に身につけておくべきコンピテンスを明確にし、「何を知っているか？」から「何を身につけたか？」にシフトすることによって、学修成果基盤型教育の構築を明確化しています。

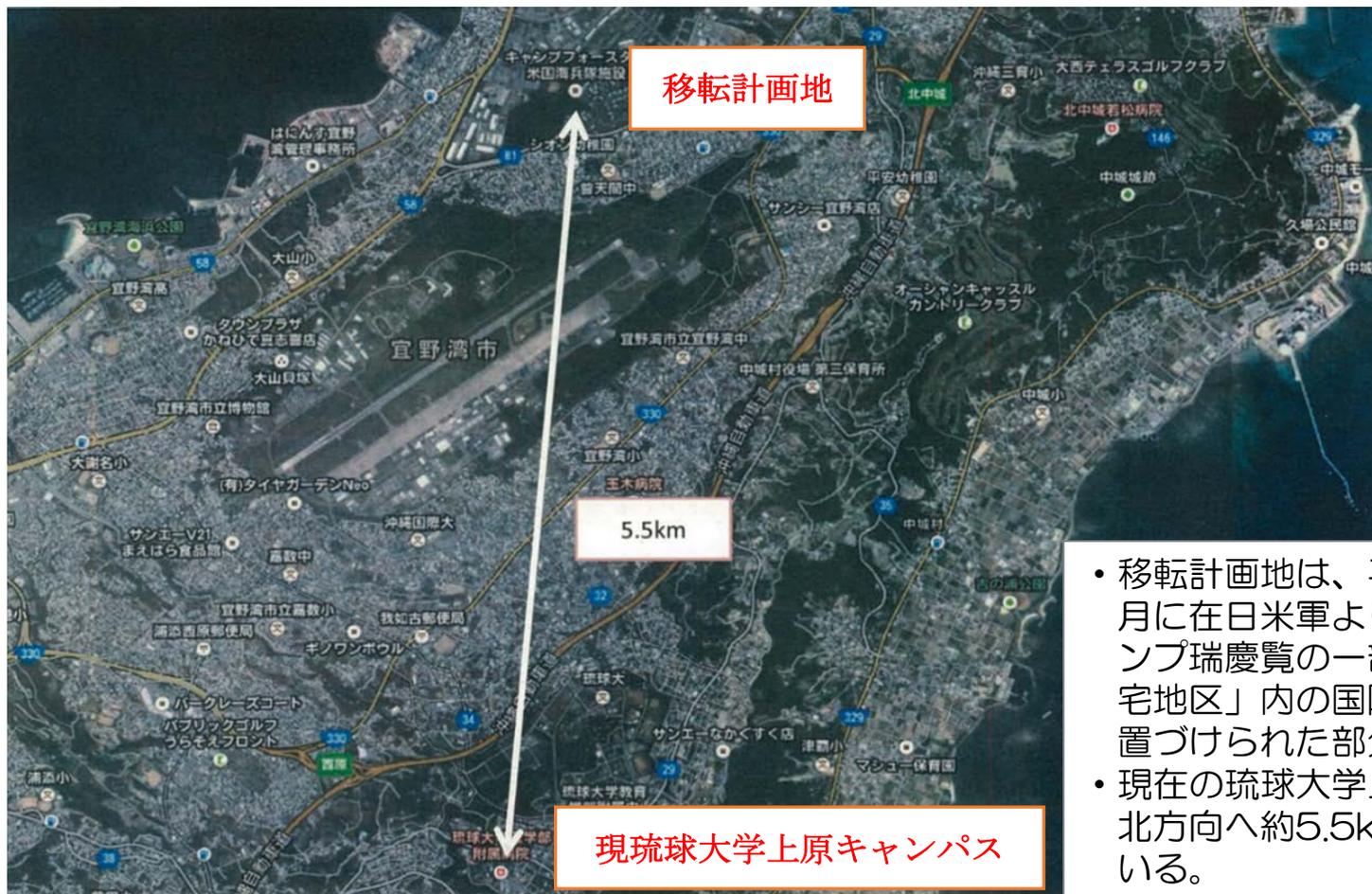
<身につけておくべきコンピテンス>

- ① プロフェッショナリズム
- ② 医学知識
- ③ 医療の実践
- ④ コミュニケーション能力
- ⑤ 地域医療への貢献
- ⑥ 国際性
- ⑦ 科学的探究



Ⅱ キャンパス整備計画①

○計画敷地の概要

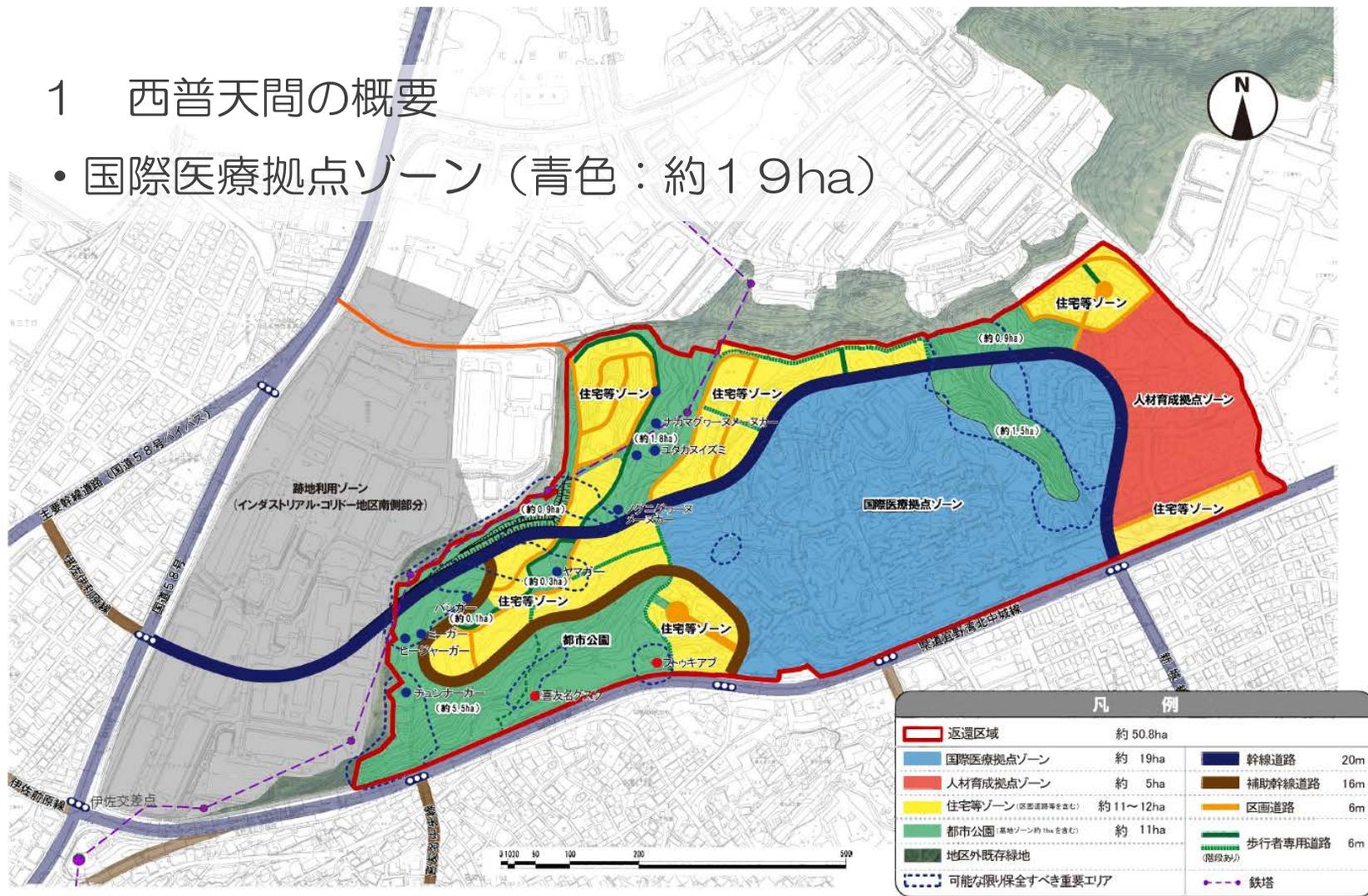


- 移転計画地は、平成27年(2015年)3月に在日米軍より返還されているキャンプ瑞慶覧の一部である「西普天間住宅地区」内の国際医療拠点ゾーンと位置づけられた部分。
- 現在の琉球大学上原キャンパスから、北方向へ約5.5kmの地点に位置している。

Ⅱ キャンパス整備計画②

1 西普天間の概要

- 国際医療拠点ゾーン（青色：約19ha）



Ⅱ キャンパス整備計画③



- このエリアは基本的には海に向かって下っていく緩い斜面（北西向斜面）であり、西側は、全体的に傾斜地で構成されている。東側の一部は渓谷状の崖地（イシジャー）及び住宅地で構成された地区で、県道81号線に接する東南部分は比較的平坦である。
- 谷あい部を除くほぼ全域が北西部の海岸線側に開けた、オーシャンビューが可能なエリアであり、大学キャンパスとしては良好な適地である。

Ⅱ キャンパス整備計画④

2 ゾーニング計画

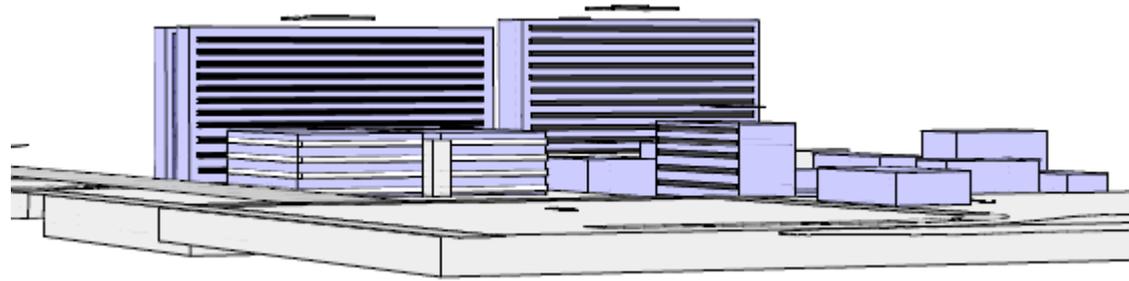
- これまでの議論を踏まえ、西側に建物、東側に駐車場、運動場を配置
- 北側に医学部ゾーン（講義・実習棟及び研究棟など）を配置
- 南側に附属病院ゾーンを配置
- 体育館、運動場を東端に配置



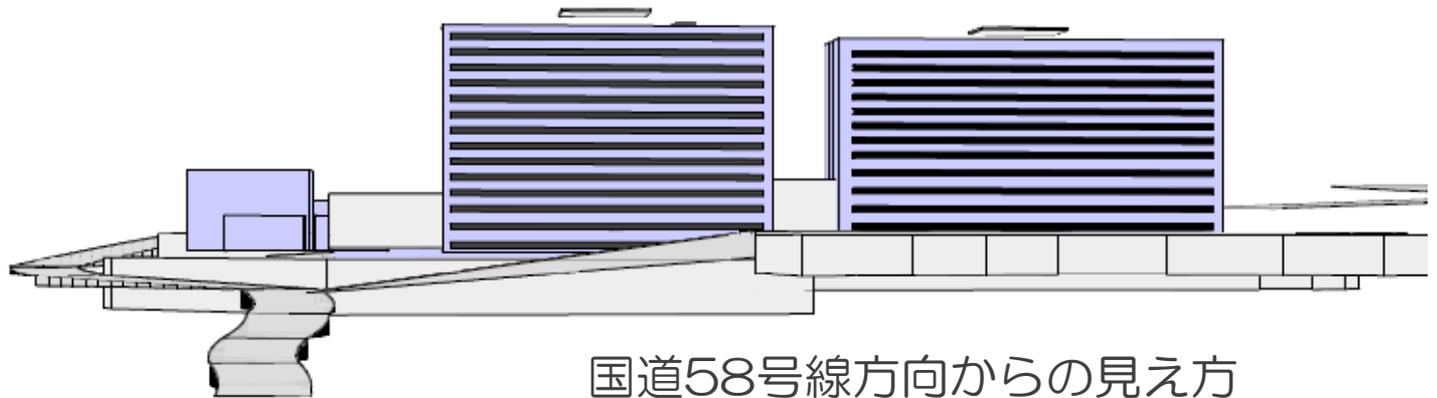
※ ゾーニングについてはイメージであり、次年度以降の設計業務にて検討いたします。



Ⅱ キャンパス整備計画⑤



県道宜野湾北中城線方向からの見え方



国道58号線方向からの見え方

※ 建物の形状等についてはイメージであり、次年度以降の設計業務にて検討いたします。

Ⅲ 部門別基本計画①

1 医学部

①講義・実習棟

- ・ 学生段階からのチーム医療への意識を有することを目的として医学科及び保健学科を一体として設置
- ・ 大講義室（240人：可動式間仕切り3室にも）
- ・ 講義室（140人：5室、80人：2室）
- ・ 実習室（140人：5室、60人：2室、30人：2室）
- ・ 階段教室（250人：クリニカルシミュレーションセンターと兼用）：1室）
- ・ 法医解剖棟

②クリニカルシミュレーションセンター（講義・実習棟の4～5階）

- ・ 本学の学部学生や医療職員のみならず県全体の全医療者に対する医療技術向上の医療施設
- ・ 3つの学習コンセプトゾーンを設置



Ⅲ 部門別基本計画②

1 医学部

③研究棟

- 医学研究科及び保健学科を一体化して設置
- 各フロアにおいて、基礎講座及び臨床講座並びに保健学科講座が別に配置されるのではなく、臨床的に関係性が強い基礎・臨床・保健学科の講座を混在して配置
- 各フロア4講座配置（緊急性や病院への動線を考慮した関連講座の低層階への配置）
※詳細は今後検討
- 各フロアの20%程度をスペースチャージとして運用
- 基礎講座：約240m²、臨床講座：約260m²、保健学講座：約260m²

④図書館分館

- 琉球大学全学の図書館設置方針等に準じて、医学部特有な状況を勘案し整備



Ⅲ 部門別基本計画③

1 医学部

⑤研究支援施設

- 現在同様に大型機器等或いは先端医学研究センターで必要となる機器については共有化することとし、そのため実験実習機器センター（研究棟、先端医学研究センター2階）を設置
- 国際的な基準や今後の国内の法的規制に合致した動物実験施設を設置
- RI実験施設は、近年の動向から廃止の方向で検討（動物実験施設相当エリア分は、動物実験施設への移行を検討）

⑥管理棟

- 現在同様に役職者居室機能や事務室機能、会議室機能を配置
- 病院における医療安全への管理強化（病院長と看護部長との連携強化）の観点から看護部長室等を管理棟に配置



Ⅲ 部門別基本計画④

1 医学部

⑦がじゅまる会館

- ・利用促進等の観点から講義・実習棟・研究棟などからの近接地に配置
- ・食堂・レストラン・カフェのほか、医務室、相談室等を配置（現在ある自学・自習スペースは講義棟や図書館等で確保できるため配置せず）

⑧体育館、運動施設、慰霊塔など

- ・体育館・テニスコート等の屋外運動施設や慰霊施設等を敷地内に整備



Ⅲ 部門別基本計画⑤

2 先端医学研究センター

○4つの研究テーマ（案）

- ① 沖縄の天然資源利用による創薬研究
- ② 熱帯・亜熱帯環境下における感染症研究
- ③ 住民ゲノムコホート及び疾患ゲノムコホート研究
- ④ 細胞治療研究及び幹細胞治療

○6つの研究部門

- ・ バイオインフォセンター、データセンター、疫学・ゲノム研究部門、移植再生医療部門、創薬部門、国際感染症研究部門
- ・ 各研究テーマに対する産学連携先等の企業及び学内外組織に対するレンタルスペースとして活用することも想定



Ⅲ 部門別基本計画⑥

3 附属病院

○新病院における病床数

- ・新病院の病床数としては、救急医療機能の強化をめざし、救急専用病床の増床を行うため、620床（一般570床、結核4床、感染6床、精神40床）とする
- ・増床する20床は高度救命救急センターとして整備（E-ICU：10床、E-HCU：10床）

○新病院における指定・学会認定、施設基準等の算定

- ・高度救命救急センターの基準を満たす施設認定を目指した整備を行う
- ・基幹災害医療センターの基準を満たす施設認定を目指した整備を行う
（そのため、全島をカバーできるヘリが離発着可能なヘリポートを複数設置する）
- ・肝臓移植の実施やその他の臓器（心臓、肺など）の移植をサポートする移植部門の基準を満たす施設認定を目指した整備を行う
- ・国際医療機能評価機関（JCI）の取得を目指すため、JCIの基準に則った病院整備を行う



Ⅲ 部門別基本計画⑦

3 附属病院

○搬送の考え方

- ・ 医療者の動線と患者の動線、業者の動線（ゾーン）は分離を基本とし、物品毎の納品・搬送動線及び物品倉庫を確保する
- ・ 患者搬送・薬剤・医療材料、ごみ収集等の用途に応じたエレベーターを整備する
- ・ 特殊搬送設備は気送管設備の設置の必要性を検討する

○病院内ネットワークの整備方針

- ・ 安定した医療情報基盤の整備
（情報インフラの整備、ネットワーク構築、医療情報を管理する部署）
- ・ 医療の標準化による地域医療体制の構築のため、医療情報ネットワークシステムを活用した、診療・検査データの集積・共有を行う
- ・ 遠隔診療の更なる充実を目指す（診療システムの確立、遠隔病理診断装置の導入等）



Ⅲ 部門別基本計画⑧

3 附属病院

○感染対策・医療安全上の課題

- ・感染症患者の動線分離や、対応設備（陰圧診察室、病室等）の導入を検討する
- ・病棟においては、各部屋の入り口にPPEの設置場所や手洗い場等を確保する
- ・一種、二種感染症病室を整備する。整備においては、一般病棟とは別に整備するとともに、陰圧スペース内に専用の検査室等の配置や集中治療が実施できるようなスペースを確保する

○施設整備における基本方針について

- ・面積に考慮し、更衣室やシャワー室、休憩室、当直室、職員トイレ、会議室、面談室、倉庫等は集約配置を行う
- ・研修医控室、外部研修者控室等、ボランティア控室、委託職員控室等は、附属病院全体として整備する
- ・講義室、会議室、倉庫等は医学部スペースの有効活用を行う



Ⅲ 部門別基本計画⑨

3 附属病院

○手術室・集中治療系病床の拡充

- ・手術室については、将来的な手術件数の増加を見越し、10室から14室に増室を行う
- ・先進的な医療に対応した手術の実施（ロボット手術・ハイブリッド手術）が可能な手術室の整備を行う
- ・集中治療系病床の拡充として、救命救急センターに整備するE-ICU、E-HCUに加え、G-ICUやNICU等についても整備を行う。

○放射線機器

- ・放射線機器については、年間検査件数の推移から、増台を行う。

台数増加予定機器：X-TV、CT、MRI、PET/CT



IV 施設整備計画①

○国際医療拠点ゾーンの現況



- このエリアは基本的には海に向かって下っていく緩い斜面（北西向斜面）であり、西側は、全体的に傾斜地で構成されている。東側の一部は渓谷状の崖地（イシジャー）および住宅地で構成された地区で、県道81号線に接する東南部分は比較的平坦である。
- 谷あい部を除くほぼ全域が北西部の海岸線側に開けた、オーシャンビューが可能なエリアであり、大学キャンパスとしては良好な適地である。

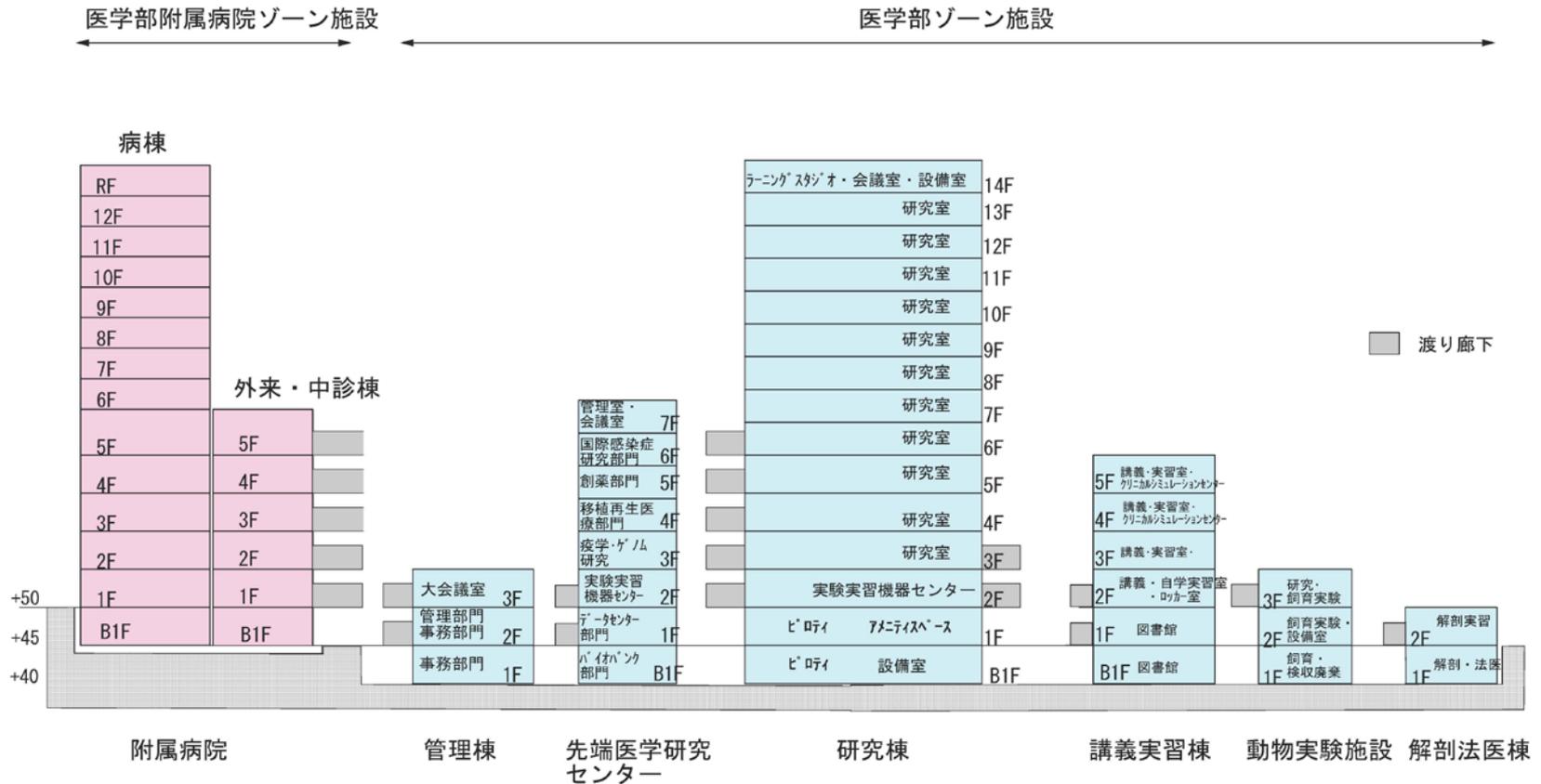
IV 施設整備計画②

建物の構成等

- 附属病院棟（病棟12階、外来・中診棟5階）：全体67,650m²
- 管理棟（3階：2,350m²）
- 先端医学研究センター（7階：5,130m²）
- 研究棟（14階：23,030m²）
- 講義・実習棟（5階：10,520m²）
- 動物実験施設（3階：3,960m²）
- 解剖法医棟（2階：1,180m²）

IV 施設整備計画③

○建物の構成及び各部門配置



IV 施設整備計画④

○建物の構成及び各部門配置

施設構成図

5F	講義・実習室	クリニカル シミュレー ションセン ター
4F	講義・実習室	
3F	講義・実習室	
2F	講義・自学自習室・ロッカー室	
1F	図書館	
B1F	図書館	

【講義実習棟】

施設構成図

2F	解剖実習室・更衣室
1F	法医解剖室・解剖処置室

【解剖法医棟】

施設構成図

14F	会議室・TBL対応実習室 設備室
13F	研究室・共有スペース
12F	研究室・共有スペース
11F	研究室・共有スペース
10F	研究室・共有スペース
9F	研究室・共有スペース
8F	研究室・共有スペース
7F	研究室・共有スペース
6F	研究室・共有スペース
5F	研究室・共有スペース
4F	研究室・共有スペース
3F	研究室・共有スペース
2F	実験実習機器センター
1F	ピロティ・学生教職員アメニティ
B1F	ピロティ・設備室

【研究棟】



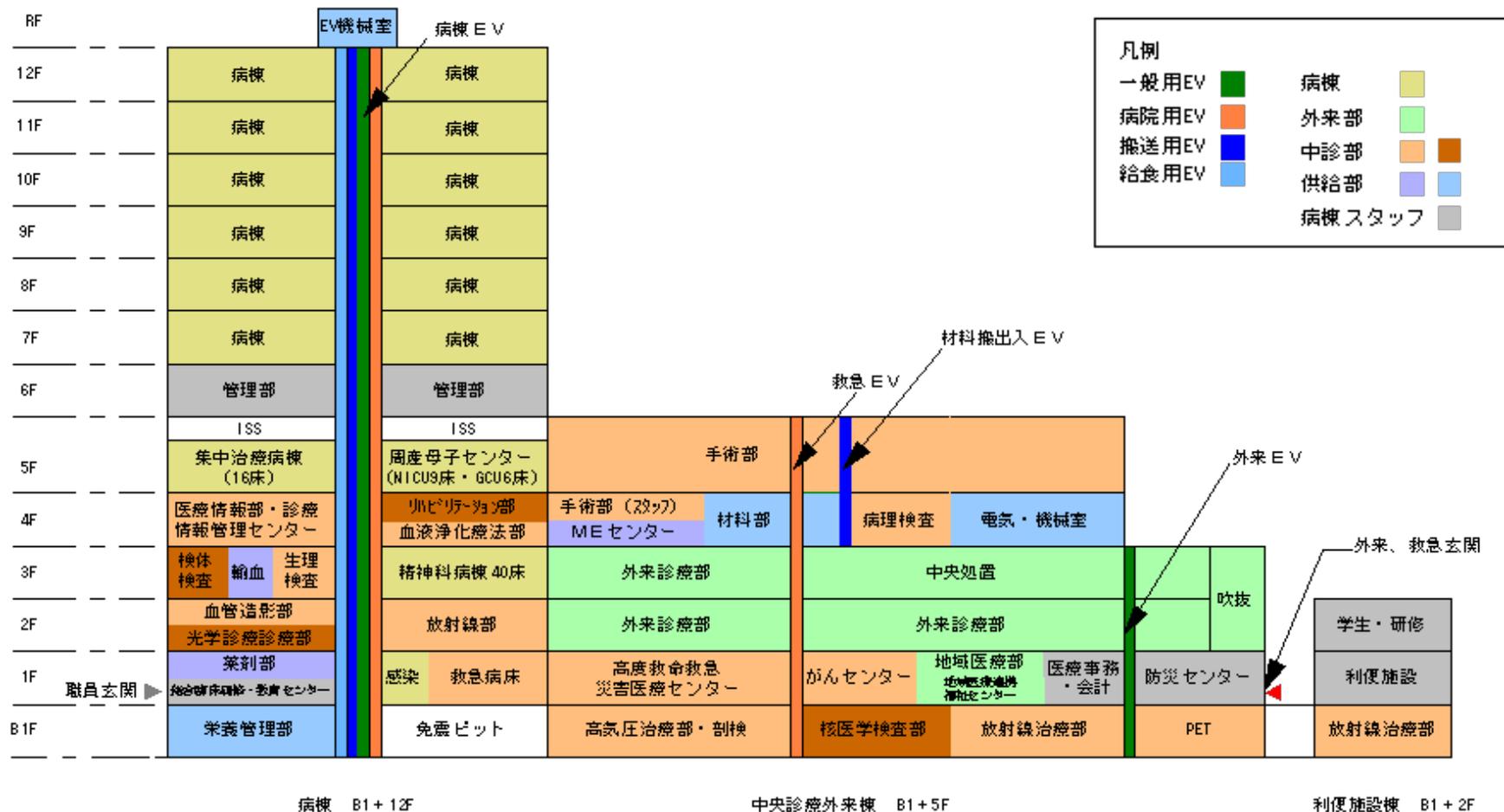
IV 施設整備計画⑤

○建物の構成及び各部門配置



IV 施設整備計画⑥

○建物の構成及び各部門配置



V 整備スケジュール

年度	事項
平成28年度	基本計画着手・完成 土地測量及び地質調査 支障除去（国による。平成29年度まで続く）
平成29年度	基本設計着手 支障除去（国による。）
平成30年度	実施設計着手 物品の移設計画策定に着手
平成31年度	土地区画整理事業工事着手（道路・インフラ整備・造成工事等）
平成32年度 ～ 平成36年度	建設工事着工・竣工
平成36年度	医学部・附属病院移転準備
平成36年度末	医学部・附属病院移転完了

基本構想

基本計画

設計段階

施工期間

移転

※内閣府における検討状況や沖縄県・宜野湾市における検討状況および法的な制限事項によって、スケジュール調整が必要となる場合も起こり得る。なお、並行して、現キャンパスの跡地利用について検討を行っていく。